

学校だより
第47号

報徳

R 3. 11. 19
校長 松下 公博

雨の中精一杯やり遂げました！

感動の運動会

NHKの連続ドラマ「おかえりモネ」が終わりまりました。モネが象予報士として働く様子に、現代の気象予報の技術力に驚かされました。私は今や今日明日の天気予報はまず外れないと信じていました。が、運動会当日午前中より降らないはずの雨が降り出しました。雨脚は弱まることなく降り続きました。天を見上げながら、なんで

も過信してはいけなかつと痛感しました。 ウイルス感染拡大で春から延期していた運動会が終わりまりました。これまで表現や団体、応援団や係の打ち合わせなど子ども達は本番に向けて頑張ってきました。一生懸命踊る姿や必死に走る姿に感動しました。どの学年もよかったです。その後、最後に雨の中素晴らしい演技をしてくれた6年

生の姿に心打たれました。自分は子ども達との姿に励まされてこれまで教師を続けてきたのだと改めて感じました。子ども達に感謝の気持ちが湧いてきました。雨の中を続行し、お子様の体調を心配されたことと思います。この場を借りましてお詫び申し上げます。ご協力ありがとうございました。

ふれあいプロジェクト

「ふれあい給食」は池田小学校の名物行事です。地域のお年寄りのみなさんと子ども達と一緒に給食を食べて交流をします。みなさんとの時間を過ごすことで子ども達は優しく思いやりの心を学びます。しかし、昨年からコロナ禍で今年も給食は中止となり、お手紙とプレゼントを贈ることにしました。子ども達は社会福祉協議会の方々からお話を聞いて学び、地域に住んでいらつしやるお年寄りのことを思いながら心をこめて準備をしています。皆様には子ども達の思いを受け取って、元気を出していただきたいと思います。

あいさつ運動

今、あいさつ運動をしています。学級ごとに入口に立って笑顔で挨拶をしてれています。感染防止で大きな声ではできませんが朝から交わす挨拶はとても元気がです。昨今ご近所でも挨拶を交わすことが減ってきています。不審者による犯罪など心配もありますので仕方ないところもありますが、コミュニケーションとして最も大切なことです。挨拶の言葉を発することで相手を受け入れる意思を伝えることができます。将来大人になって必要な挨拶がきちんとできるようになってほしいと思います。

希望の道

7月に6年生と作った報徳園のアプローチの名前を企画委員会が募集してくれていました。先日、名前の発表がありました。 「希望の道」です。とてもいい名前です。77年前に作られた池田小のシンボル報徳の碑。5年前の地震で上の玉が落下してしまいました。今年3月に修復されました。復活した記念碑へ向かうアプローチにふさわしい名前が付きました。池田小の子ども達には地震やコロナの厳しさを乗り越えて、明るい未来に希望をもつて進んでいってほしいことを願います。